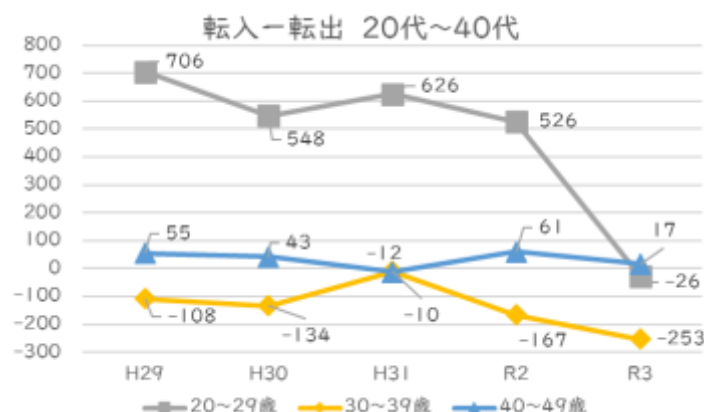
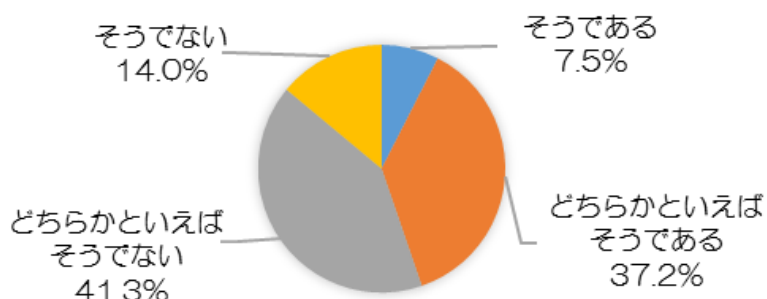


(2) 生野区シティプロモーション

生野区では都心部と比べて若年層・子育て層の人口割合が低く、少子高齢化・人口減少が一層進む中で、生野区のまちが持続可能で発展していくまちとなるには、まちに人が訪れ、住み、働くなどの社会経済活動が活性化する必要があります。そのためには、魅力ある資源を発掘するとともに、区民のまちへの愛着・誇りが高まるような取組や、区の魅力を内外に向けて効果的に情報発信し、たくさんの方に区の魅力・特性を知ってもらうことにより、若年層や子育て世代をはじめとした次世代のまちを担う人々が区に訪れ、住み続けてもらえるような戦略的なプロモーションの必要があります。



生野区は、様々な人々が訪れ、住みたいと感じられるような魅力あるまちだと感じますか。（令和3年度区民アンケートより）



めざす状態

生野区のまちが、子育て世代に選ばれ、若者が活躍でき、そして区民が誇りに思えるまちとなっている状態をめざします。

目安とする指標

- ・ 生野区のまちに愛着を感じ、これからも住み続けたいと回答した区民の割合
：令和8年度（2026年度）末までに60%以上
- ・ 令和8年度（2026年度）末までに若年層の転出(転入)が前年より減少(増加)する状態

◆施策展開の方向性

① わがまち意識の浸透



生野区では、地域活動協議会⁹が実施する取組をはじめ、子育てを応援する取組、空き家を活用した地域の活性化、「いくのの日」の取組など、生野区を盛り上げる様々な取組が各地域で行われています。また、そういった取組をSNS等により発信することにより生野区の魅力を区内外にアピールされています。

生野区としてもこれら区民の自主的な取組を応援し、生野区のまちの多彩な魅力を区民自身が再認識し、自分の住むまちを愛する意識や誇りが高まるように取り組むことで、シビックプライド（郷土愛）の醸成を図っていきます。



「いくのの日」の旗

⁹ 概ね小学校区を範囲として、地域団体やNPO、企業など地域のまちづくりに関するいろいろな団体が集まり、話し合い、協力しながら、様々な分野における地域課題の解決やまちづくりに取り組んでいくための仕組み。

生野区では、「地域まちづくり協議会」等といい、略称として、「地活協」や「まち協」と呼ばれています。

② 「生野の魅力」を「世界の魅力」に

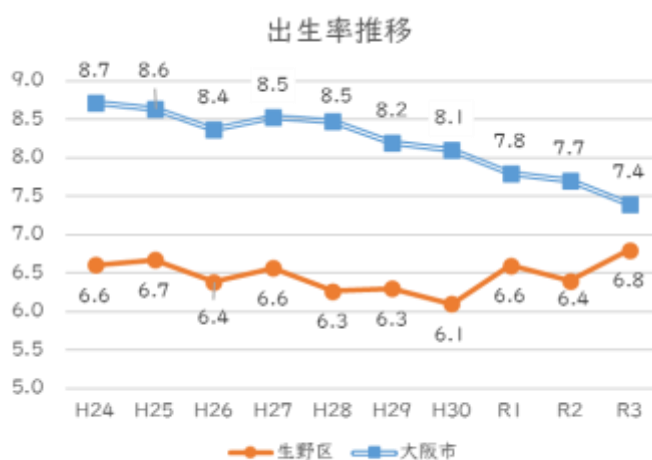
大阪・関西万博の開催を契機に、生野区のまちの多彩な魅力・特色を内外に向けて情報発信し、自国はもちろん世界の人々にも認知してもらうとともに、区に訪れたい、住みたい、住み続けたいまちになるように、区の様々な施策や地域資源を、まちの魅力として様々な手法を駆使して内外へ広く効果的に発信していくことで戦略的なシティプロモーションを進めていきます。



Ⅲ 子育てにやさしく、教育につよいまち

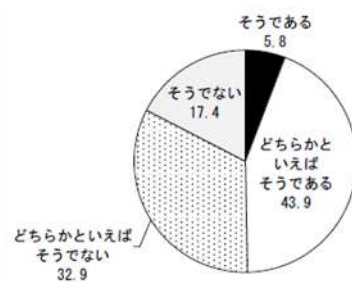
(1) 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり

少子化にともなう子育て世代の減少や核家族化が進む中で、育児不安やストレスを感じた際に相談できる相手がいないために孤立することがないように、安心して子どもを生み育てることができる環境を充実させるとともに、子育てをより積極的に楽しめる環境づくりが必要です。

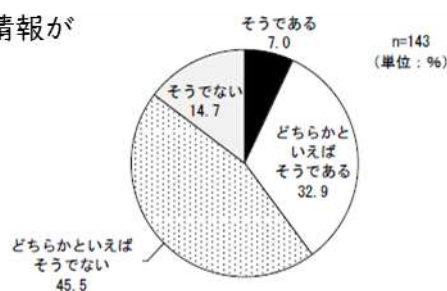


※出生率：人口1,000人当たりにおける出生数
大阪市推計人口年報から

生野区は安心して子育てができる
環境が整っていると感じますか
(R3区民アンケート)



生野区では子育てに関する情報が
入りやすいと感じていますか
(R3区民アンケート)



めざす状態

次世代を担う子どもたちが健やかに育つための環境や相談支援体制があり、安心して子育てができるまちとなっている状態をめざします。

目安とする指標

子育てしやすいまちと感じると回答した区民の割合
：令和8年度（2026年度）末までに60%以上

◆施策展開の方向性



① ライフステージに応じた子育て支援の充実

区民が安心して子どもを産み育てることができる環境をつくるため、妊娠期から保健師との顔の見える関係づくりによる継続した支援を行うとともに、各健康診査や子育て相談時に、発達障がい児またはその疑いのある子を早期に発見し、療育支援に取り組みます。

また、子育てに関する効果的な情報の提供や、子育て支援機関等と連携・協力し、気軽に相談や交流できる機会を設けるとともに、子育て世帯が孤立することがないように、適切な専門機関へつなげることで、妊娠から出産、乳幼児期から就学期にわたる各ライフステージをトータルで支援します。

② 安心して楽しく子育てできるまちづくり

子育てがより楽しくなるよう、子育て支援機関等と連携・協力し、親子で楽しめる子育て応援イベントなど、親子のコミュニケーションやこどもの知的好奇心を高める仕掛けづくりに取り組みます。

身近な地域での子育て支援活動をはじめ、子育てを支援する団体等と連携・協働しながら、まちぐるみで子育てを応援する機運を高め、安心して楽しく子育てのできる環境づくりに取り組みます。

第3章 施策展開の方向性



「こども・子育てプラザ」のサイト



絵本に親しむきっかけづくり



子育て応援イベント 「いくのっ子広場」の様子

(2) 未来を生き抜く力の育成

学校や保護者、地域の方々など社会全体で協働的にこどもの成長に関わっていくことが大切です。一方で、少子高齢化と人口減少やグローバル化、ICT化が一層進む中、次世代を担うこどもたちが社会環境の多様な変化にも柔軟に対応することができる、未来を生き抜く力を備えるように育んでいく必要もあり、そのための教育環境の充実が求められています。

令和4年度 全国学力・学習状況調査の調査結果によると、生野区における学校外での学習状況や将来への希望、困難に立ち向かう児童生徒の割合が、全国平均と比べ低くなっています。

さまざまな家庭環境で育つこどもたちへ未来を生き抜く力を育成するために、学校を通した多様な学びの機会の充実を図るなど、生野区の教育環境を充実するための支援が必要な状況です。

		小6	中3
授業時間以外に全く勉強しない子の割合	大阪市	11.1%	9.1%
	全国	4.2%	4.9%
将来の夢や目標を持っていない子の割合	大阪市	21.8%	35.9%
	全国	20.2%	32.5%
難しいことには挑戦しない子の割合	大阪市	31.5%	35.3%
	全国	27.5%	32.9%

令和4年度 全国学力・学習状況調査から

また、生野区では、昭和50年代と比べて区内の児童・生徒数は約70%減少しています。一方で学校数が同じであったことから学校あたりの児童数が減少し、小規模化が進んでいました。

このような中、平成28年2月に、こどもたちのよりよい教育環境づくりに向けて、将来のまちづくりの観点を含めた「生野区西部地域学校再編整備計画」を策定し、学校配置の適正化に取り組んできました。

その後、児童の良好な教育環境の確保及び教育活動の充実を図るため、望ましい小学校の学級数の規模とするように「大阪市立学校活性化条例」が令和2年4月に改正施行され、この条例に基づき、学校配置の適正化の取り組みを進めているところです。

第3章 施策展開の方向性

【学校配置の適正化 取組状況】

- ・平成31年4月
「桃谷中学校」開校（勝山中学校・鶴橋中学校を再編）
- ・令和3年4月
「大池小学校」開校（御幸森小学校・中川小学校を再編）
- ・令和4年4月
「大池小学校」開校（大池小学校・舍利寺小学校の一部を再編）
「田島南小学校」開校（田島小学校・生野南小学校を再編）
「義務教育学校生野未来学園」開校（林寺小学校・生野小学校・舍利寺小学校の一部・西生野小学校・生野中学校を再編）

生野区内の大阪市立小学校 学級数ごとの学年数の状況（大阪市学校現況調査から）

年度	昭和57年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
学校数	19校		19校		19校		19校		19校	
児童数(人)	14,656		4,606		4,512		4,495		4,503	
総学年数	114		114		114		114		114	
単学級の学年数と割合	0	-	61	53.5%	60	52.6%	62	54.4%	65	57.0%
2学級の学年数と割合	14	12.3%	51	44.7%	52	45.6%	50	43.8%	47	41.2%
3学級の学年数と割合	49	43.0%	2	1.8%	2	1.8%	2	1.8%	2	1.8%
4学級の学年数と割合	33	28.9%	0	-	0	-	0	-	0	-
5学級の学年数と割合	17	14.9%	0	-	0	-	0	-	0	-
6学級の学年数と割合	1	0.9%	0	-	0	-	0	-	0	-

年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
学校数	19校		19校		18校		14校	
児童数(人)	4,483		4,391		4,330		4,284	
総学年数	114		114		108		84	
単学級の学年数と割合	67	58.8%	68	59.6%	61	56.5%	26	31.0%
2学級の学年数と割合	44	38.6%	44	38.6%	45	41.7%	52	61.9%
3学級の学年数と割合	3	2.6%	2	1.8%	2	1.8%	6	7.1%
4学級の学年数と割合	0	-	0	-	0	-	0	-
5学級の学年数と割合	0	-	0	-	0	-	0	-
6学級の学年数と割合	0	-	0	-	0	-	0	-

めざす状態

生野のまちで学び育つこどもたちが、確かな基礎学力のもと、広い視野をもって、社会や人生が変化しても、課題を発見し解決していく力を身につけている状態をめざします。

目安とする指標

- ・ 難しいことでも失敗を恐れないで挑戦したいと思う児童・生徒の割合
：令和8年度（2026年度）末までに70%以上
- ・ 学校だけでなく、地域で様々な学習、体験や交流ができる機会があると感じると回答した区民の割合
：令和8年度（2026年度）末までに50%以上

◆施策展開の方向性



① 次世代の学校づくり

生野区の教育環境を充実するために、区における産官学と地域の連携を図り、学校ごとに異なる課題や特色に対応した多様性に富んだ質の良い教育支援ができる仕組みを構築し運用します。

未来を生き抜く力の育成の視点に立ち、これまでも取り組んできた性・生教育やキャリア教育の講師派遣の充実を図るとともに、コロナ禍でも継続できる職業体験などを通して、主体的・対話的で深い学びを目的としたプログラム提供の取組を行います。

また、教員が学びあうための環境整備・学校支援・研修など教員の指導力向上の取組への支援を行います。

学校配置の適正化については「大阪市立学校活性化条例」に基づいて引き続き進めていきます。

第3章 施策展開の方向性

「IKUNO未来教育ネットワーク」について

～産官学＋地域の連携で育てる生野っ子～

大阪市生野区役所では、令和3年4月より「生野区のこどもの学び」を支援するために、多様な企業・団体等に「IKUNO未来教育ネットワーク」にご登録いただき、キャリア教育や体験活動の充実、学校支援を推進。（令和4年10月時点で44団体が登録）



さまざまな支援

- ・出前授業
- ・職場体験
- ・ICT教育支援
- ・探求型プログラム等



IKUNO未来教育ネットワークに登録した様々な企業・団体等

生野区内 小・中学校及び、義務教育学校

- ・教育活動への支援依頼
- ・学校ニーズを踏まえた支援の開発連携

生野区役所

- ・学校ニーズの調査
- ・支援メニューの提供

「IKUNO未来教育ネットワーク」(区HP)
<https://www.city.osaka.lg.jp/ikuno/page/0000551547.html>

* 登録企業・団体等の一覧や取組を紹介



「IKUNO未来教育ネットワーク」に関する事例



【物資提供】
 (株)ウェブシャークより
 Yagibaノアの書籍
 提供：学校、児童、国際、文化の垣根を
 越えるコミュニケーションの場
 になってほしい



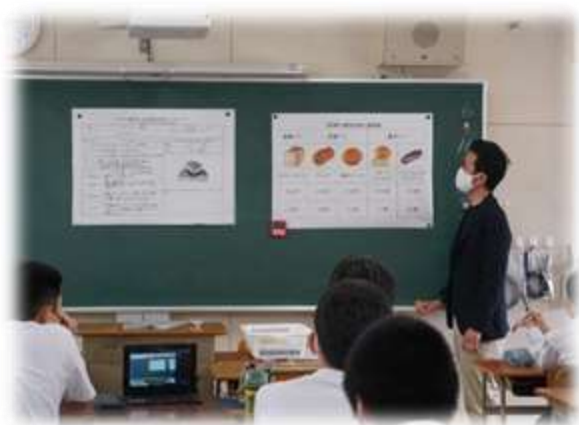
【出前授業】
 「青木喜人が教える！
 SDGsってなに？」
 関連教科：社会



【情報提供(教材)】
 目の健康を学ぶ
 「アイケアプログラム」
 関連教科：保健体育



【探求型プログラム】
 企画提案、販売データの分析
 「IKUNO X ものづくり X ICT」
 関連教科：国語、数学、
 社会、美術



次世代の職業体験プログラム出前授業の様子



いくの塾の様子

② まちの教育力を上げる

まち全体で多様に学べる機会として、学校内外で、小・中学生が様々な体験や経験、交流ができる機会を拡充します。

地域の生涯学習活動や生涯学習推進員を支援し、生涯学習に取り組む区民が学習の成果を地域に還元できるよう支援するとともに、こどもが地域の大人から学ぶことで、多世代交流を促進します。



生涯学習フェスティバルの様子

第4章 施策展開の推進にあたって

市民の暮らしの満足度向上をめざした市政改革をまとめた「市政改革プラン3.1」の改革の柱との一つである「ニア・イズ・ベター¹⁰の徹底」中で区役所に関連する取組として掲げられた自律的な地域運営の促進や区役所業務の更なる改善の推進に取り組みます。

I 地域活動協議会による自律的な地域運営の促進

(1) 地域の実情に即したきめ細かな支援

区内 19 地域で活動している地域活動協議会の活動状況や自律の状況の把握、地域のニーズ調査、地域カルテ¹¹更新の支援などを通じて地域活動協議会と課題を共有したうえで、コロナ禍だけでなくアフターコロナも見据え、オンラインの活用など活動の多様化に応じて、地域の実情に即したきめ細かな支援を行い、より多くの住民参加を促します。

また、自治会・町内会単位（第一層）¹²の活動等を支援し、身近な地域でのつながりづくりと地域活動の活性化を図るとともに、市民活動への支援等を通じて、様々な活動主体と地域との連携・協働を促進します。



北鶴橋	北鶴橋まちづくり協議会
鶴橋	鶴橋ふれあい協議会
御幸森	御幸森まちづくり協議会
勝山	勝山地域まちづくり協議会
東桃谷	東桃谷地域まちづくり協議会
舍利寺	舍利寺まちづくり協議会
西生野	西生野まちづくり協議会
生野	生野地区運営委員会
田島	田島まちづくり協議会
生野南	生野南ふれあい協議会
林寺	林寺まちづくり協議会
中川	中川地域まちづくり協議会
東中川	東中川地域まちづくり協議会
小路	小路地域まちづくり協議会
東小路	東小路まちづくり協議会
北巽	北巽まちづくり協議会
巽東	巽東まちづくり協議会
巽	巽まちづくり協議会
巽南	巽南まちづくり協議会

各地域の地域活動協議会

¹⁰ 住民に近いところで行われる決定ほど望ましい、という地方分権の基本的な考え方。

¹¹ 地域ごとに地域特性や地域課題、地域活動協議会の活動状況や運営上の課題などについて、客観化・明確化するための資料。

¹² 地域活動の対象範囲を表した表現で、第一層とは「自治会・町内会単位」をさしている。なお、平成29年1月にまとめられた「区政の検証」では、第一層のほかに、第二層を「校区等地域単位」、第三層を「区単位」としている。

(2) 地域活動協議会の意義・求められる機能の理解促進

地域活動協議会の意義や地域活動協議会に求められる準行政的機能¹³や総意形成機能¹⁴について、地域活動協議会の役員や構成団体、地域住民の理解が深まるよう積極的な働きかけや発信を行います。

(3) 区の状況に応じた支援の実施

まちづくりセンター¹⁵等¹⁶による地域活動協議会への支援の効果検証に基づき、全地域一律でなく、地域の実情に即した最適な支援を実施します。

II 区役所業務の更なる改善の推進

区役所業務における業務改善のベストプラクティスをもとにした24区の標準化と、更なる改善を継続的に行っていく仕組みを構築し、業務の一層の効率化や不適切事務の防止に取り組んでいきます。

¹³ 校区等地域内で、他の市民活動団体が行っていない地域活動をカバー（補完）しながらまちづくりを進めていく機能。

¹⁴ 校区等地域の将来像や、住民の様々な意見の調整・取りまとめを行う機能のこと。

¹⁵ まちづくりセンター：「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」の実現に向けて、市民による自律的な地域運営を積極的に支援することを目的としている機能や体制などの総称。

¹⁶ まちづくりセンター等：まちづくりセンター設置当初は本市からの外部委託であったが、現在では、本市の会計年度任用職員による支援を行う区もあることから、「等」と表記している。

SDGs 持続可能な開発目標 とは

2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴールと169のターゲットから構成されています。



- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 貧困をなくそう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 2 飢餓をゼロに | 11 住み続けられるまちづくりを |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 12 つくる責任 つかう責任 |
| 4 質の高い教育をみんなに | 13 気候変動に具体的な対策を |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 14 海の豊かさを守ろう |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | 15 陸の豊かさを守ろう |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16 平和と公正をすべての人に |
| 8 働きがいも経済成長も | 17 パートナリーシップで目標を達成しよう |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | |

—大阪SDGs行動憲章—

大阪市は2025年大阪・関西万博の地元都市として
万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に向けて
17の目標の達成をめざします。



編集・発行

年 月

大阪市生野区役所企画総務課

〒544-8501 大阪市生野区勝山南 3-1-19

電話 06-6715-9625・FAX 06-6717-1160

